



# 和宏のほっとかない!! NEWS

政策 2017 特別号  
vol.61

【発行者】

〒340-0821 埼玉県八潮市伊勢野 306 TEL.090-3402-6388 (本人直通)

Find us on  
Facebook

あさだ和宏を育てる会 <http://challenge-kazuhiro.com/> E-mail: [asayan@biscuit.ocn.ne.jp](mailto:asayan@biscuit.ocn.ne.jp)

あさだ和宏



八潮市議会議員

# あさだ 和宏

働き盛り  
49才



市を「カタチ」に・・・  
政策提言から**実現**へ



## すべては市民のために!

# 八潮市の未来を見据えた5つの戦略

人口減少、高齢化の課題は全国共通の課題です。

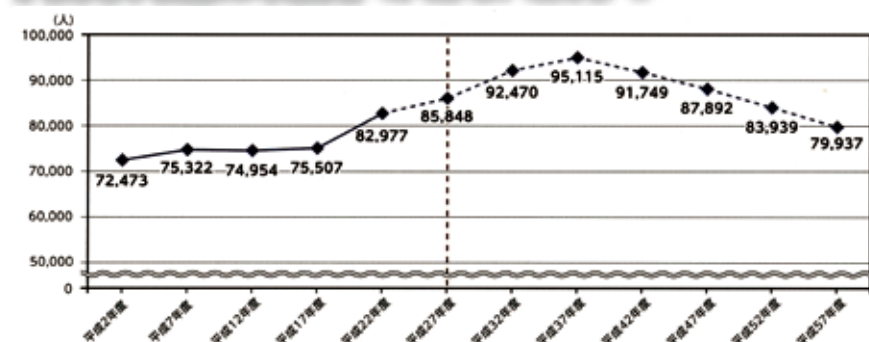
国も自治体も本気になって取り組まなければ未来はありません。まちも人も高齢化していく中で、「責任世代」が果たすべき役割があると私は考えます。

さて、本市はつくばエクスプレス開業を機に、現在も人口増加が続く、大きく発展をしています。

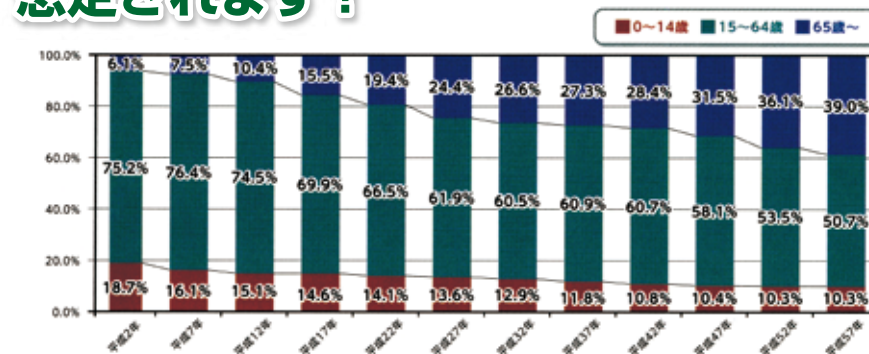
しかし、わが国全体の人口減少が始まっている現在、そう遠くない将来、本市の人口が減少することが予想されています。

また、同時に、急速に高齢化が進むことが予想されています。

**将来は人口減少と高齢化の進展により、「税収増」は期待できません！**



**少子高齢化の流れが続く、20年後には、65歳以上の人口が3割を超えることが想定されます！**



※グラフは八潮市公共施設マネジメント白書から引用

**まちの活力の源は「人」です。**

特に若い世代のエネルギーが八潮市には必要です。

これからも、子育て世代など若い世代の「転入」を促進し、「ずっと住み続けたい」と思える「まちづくり」を進める必要があると私は考えます。

そのためには、未来を見据えた具体的な戦略を立て、課題を「先送り」するのではなく「先取り」する姿勢(体制)づくりが必要と考えます。

## 戦略その1 市民の健康づくり ～もっといきいき～

- 埼玉県コバトン健康マイレージ、やしお毎日一万歩運動や、いこい体操等を充実させ、市民の健康寿命を延ばします。
- 特定検診や、がん検診等の検診体制を充実、受診率を向上させ、生活習慣病等の早期発見、早期治療を促します。
- グラウンドゴルフを始め、多目的利用が出来る、グラウンドの整備を進めます。
- 文化スポーツセンターの建替えを機に、民間のスポーツジムを併設した総合体育館の建設を推進します。
- 障がいのある方の就労支援、家族支援を広げ、自立を支援します。
- シニア世代の「地域デビュー」の支援策を充実します。



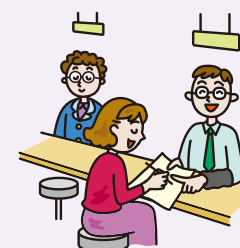
## 戦略その3 暮らしやすさ向上 ～もっと安心～

- 自宅の耐震化や在宅避難対策を強化し、都市型防災力を高めます。
- 災害発生時、障がい者や高齢者の方が安心して避難ができる福祉避難所の更なる拡充を進めます。
- 埼玉県と連携し(仮称)八潮警察署の誘致を推進します。
- 地域と連携したパトロールや見守り活動を強化します。
- 多目的利用が可能な、防災公園の整備を推進します。
- 各小学校区単位での防災訓練を実施、地域の防災力と危機管理能力を高めます。



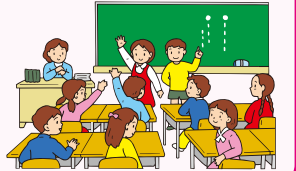
## 戦略その5 行政(議会)改革 ～もっとスピーディーに～

- 公共施設の再編(アセットマネジメント)を推進、市民ニーズに対応した、より質の高い公共施設の整備、再編を推進します。
- より質の高い市民サービスが提供出来るように、市役所職員のスキルアップ(研修体制)の充実を図ります。
- 各種事務事業を見直し、行政の効率性を高め、本当に必要な市民サービスの拡大、拡充を図ります。
- (仮称)八潮市議会基本条例を制定し、議会としての政策立案能力をさらに向上させ、より市民から身近な議会をめざします。



## 戦略その2 子育て世代定住 ～もっとすくすく～

- 民間活力等を活用し、市内小中学校(普通教室・特別教室)へのエアコンの設置を早急に進めます。
- 共働き家庭や都内に通勤するお母さんも安心して働けるよう、保育園、学童保育室の時間の延長を進めます。また、病後児保育も充実させます。
- 市内でお産が出来るように、産科の誘致(優遇策の充実)を推進します。
- 子育て中の女性の起業支援など、働く場の確保策を推進します。
- 地元で採れた野菜等を使用するなど、より美味しい学校給食(小中学校)の実施を推進します。
- 小中一貫教育プログラムの充実(ハード・ソフト面)させ、自立して生きる力を育てます



## 戦略その4 魅力発信 ～もっとわくわく～

- シティーセールスを活用し、市民、企業、行政が一体となって、本市の魅力を全国に発信(PR)します。
- やしお駅前公園を活用し、若い世代が中心となって開催するイベントを推進します。
- 中川やしおフラワーパークや水辺の楽校等、貴重な自然が残る中川河川敷の空間活用したイベントを推進します。



**「次世代に素晴らしい八潮市を引き継ぐ…」これが私の使命です。**

**ずっと暮らし続けたい  
ずっと働き続けたい  
訪れたい 八潮市へ**

八潮市長・八潮市議会議員選挙

**8月27日(告示) 9月3日投票**



# 市議会議員(4期・16年) での実績と活動

一般質問等で政策提言をした後、実現した事業  
(一部抜粋)

- 自治基本条例の制定
- 840メール配信
- 中学校修学旅行費用の見直し
- 選挙ポスター公費負担限度額の見直し
- 産科の誘致(優遇策)
- 公共施設のあり方  
(アセットマネジメントの作成)
- 骨髄ドナー提供時の補助制度
- 消防団装備(安全靴)の充実  
(国の補助金を活用し全消防団員に貸与)
- 市内高校生による選挙事務



## 市民の皆様へ、 積極的に情報発信！

- 当選以来発行を続けている「和宏のほっとかないNEWS」  
累計90万部を突破！  
自ら駅頭での配布や、やポストイングを行っています。
- 「和宏のひとりごと」「Facebook」等で、議会のできごと、日常のできごと等を発信！
- 6月よりほぼ毎日、八潮駅にて「駅頭ご用聞きキャンペーン」を実施中！



話します



聴きます



見ます



## 災害ボランティアとして活動

東日本大震災発生時には、市内の避難所(文スポ)で避難をされていた方に対して、約3か月間、炊き出しを実施。

その後、宮城県南三陸町、陸前高田市、福島県いわき市等で災害ボランティア活動を継続。

(現在も、「南三陸応援団」として、各種イベント等でボランティア活動中)

また、関東東北豪雨災害では、茨城県常総市を中心に、約30日、現地で活動。改めて水害の恐ろしさを痛感すると同時に、日頃からの備えの重要性を再認識しました。

さらに熊本地震では、益城町の避難所で、炊き出しのお手伝いを行いました。



東武より新聞(特集記事)「東日本大震災と私」で活動が紹介されました。

災害現場でのボランティア活動を通して得た経験、体験を活かして、より災害に強いまちづくりをします。



## あさだ和宏プロフィール

### 生いたち

- 1968年 3月28日 八潮市に生まれる(49歳)
- 身長176cm 体重81キロ(3年前からダイエット開始、約20キロ減量に成功) 血液型B型
- 市立大瀬小(八小)大原中(二中)を卒業 ● 私立成立学園(商業科)を卒業
- 専修大学 法学部法律学科卒業(40歳を機に大学へ入学、働きながら4年間通学し、2012年・卒業)
- ★01年9月(33歳) 1229票12位当選 ★05年9月(37歳) 1415票9位当選(2期目)
- ★09年9月(41歳) 1733票3位当選(3期目) ★13年9月(45歳) 2164票3位当選(4期目)

### 議会での役職

建設水道常任委員会副委員長、総務文教常任委員会委員長、八潮市土地開発公社理事等を歴任。  
平成26年9月から2年間、八潮市議会副議長(第44代)を歴任  
平成28年9月より八潮市監査委員(議会選出)に就任  
福祉環境常任委員会委員

### その他の役職

八潮市立大瀬小学校 PTA 会長、八潮市立大原中学校 PTA 会長、  
埼玉県立八潮南高校 PTA 会長、同後援会長を歴任  
(現在)伊勢野自治会長、青年地方議員の会 OB 会員、埼玉青志会副会長

### 趣味

写真撮影、ウォーキング、ロードバイク、料理(調理師免許所持)、食歩歩き、旅行、登山

### 家族

父、母、妻、息子の5人家族

